

令和 7 年度 USOPEN Jr 派遣事業

参加報告書



全国高等学校体育連盟テニス部

USOPEN Jr 派遣チーム 参加者一覧

	氏名	ふりがな	所属または役職
女子選手	早坂 来麗愛	はやさか くれあ	仙台育英高校
男子選手	富澤 直人	とみざわ なおと	代々木高校
スペシャルパートナー	上田 篤	うえだ あつし	(株)アメアスポーツジャパン
副団長	古賀 賢	こが けん	全国選抜実行委員会会長
団長	黒岩 睦雄	くろいわ むつお	全国高体連テニス専門部部长

滞在地および宿泊地

選手団 現地滞在先 8/24～9/3

THE MANHATTAN AT THE TIMES SQUARE HOTEL

事前合宿 8/22～8/23(一泊二日)

味の素ナショナルトレーニングセンター (NTC)

USOPEN Jr 派遣チーム 集合先(前泊宿舎)

JAL シティ羽田東京



大会オフィシャルホテル

(予選) クレデンシャル受け取りおよびサインイン

The Hilton Midtown

午前 8 時開始 (30 分前に並ぶと待ち時間が少ない)

(本選) クレデンシャル受け取り

The Hilton Midtown

午前 8 時開始 (1 時間前に並ぶか、11 時くらいに訪ねると待ち時間が少ない)

選手は事前に入力が必要であるが、受付でも対応可能。選手一人につきコーチ 2 名、家族 ID2

名登録可能。それ以上は USTA に要交渉

ダブルスのサインインは本選会場の選手ラウンジにて対応 (Hilton ではない)

(本選出場者ミーティング)

Chase Indoor Tennis Center

本選会場選手ラウンジ内の屋内コートNo.6にて

1 時間程度栄養学やドーピングに関する講和



全日程詳細（8月22日金曜日～9月5日金曜日）

日時		時刻	プログラム
第1日	8月22日 (金)	12:00	NTC 集合、練習開始（早稲田実業学校協力）
		16:00	練習終了、同じ敷地内の宿舎移動
		18:00	夕食
		22:00	就寝
第2日	8月23日 (土)	06:30	朝食
		09:00	練習開始（早稲田実業学校協力）
		12:00	練習終了、昼食
		13:30	BNP パリバ協力による英会話レッスン
		15:00	レッスン終了、前泊ホテルに移動
		17:00	ホテルチェックイン
		18:30	夕食（宿泊ホテルにて）
第3日	8月24日 (日)	22:00	就寝
		6:00	起床、各自で朝食
		7:20	ロビー集合
		7:30	ホテル出発（シャトルバス満席情報のためタクシーにて羽田空港に移動）
		8:00	羽田空港着、取材、搭乗手続き
		11:05	羽田空港発（JL006 便）
		11:05	JFK 空港着、入国手続き
		13:00	専用車にてフラッシングメドウ・コロナパーク移動
			USOPEN 会場視察および試合観戦
		16:00	専用車にてホテル移動
第4日	8月25日 (月)	17:00	THE MANHATTAN AT THE TIMES SQUARE HOTEL チェックイン
		19:00	夕食
		22:00	就寝
		6:00	起床
		7:00	朝食（ホテル近くのカフェ）
		9:00	ホテル発
		10:00～12:00	練習（会場 コロンビア大学内屋内テニスコート）
		12:30	会場発、ホテル近くにて昼食
第4日	8月25日 (月)	18:00	夕食
		22:00	就寝

日時		時刻	プログラム
第 5 日	8月26日 (火)	6:00	起床
		6:30	朝食（ホテル近くのカフェ）
		7:30	ホテル発
		9:00	練習（会場 コロンビア大学内屋外コート）
		12:30	会場発、ホテル近くにて昼食
		18:30	夕食
		22:00	就寝
第 6 日	8月27日 (水)	6:00	起床
		7:00	ホテル発
		7:30	朝食購入（Hilton ホテル横のスターバックス）
		8:00	サインイン・クレデンシャル受け取り
		10:00	公式練習（予選会場 キャリーリーズテニスセンター）
		16:00	会場発、Setinn NY 特設店舗訪問
		18:00	夕食
第 7 日	8月28日 (木)	6:00	起床
		7:00	朝食（宿舎）
		8:00	ホテル発
		8:40	予選会場着
		10:00	試合前練習
		11:00	早坂選手試合開始
		12:30	富澤選手試合開始
第 8 日	8月29日 (金)	15:00	予選初日終了、ホテル移動
		19:00	夕食
		22:00	就寝
		6:00	起床
		7:00	朝食（宿舎）
		8:00	ホテル発
		8:40	予選会場着
第 8 日	8月29日 (金)	9:00	試合前練習
		10:00	富澤選手試合開始
		13:00	富澤選手本選出場決定、Wilson Soho 店舗訪問
		19:00	夕食
		22:00	就寝

日時		時刻	プログラム
第 9 日	8月30日 (土)	6:00	起床
		7:00	ホテル発、本選サインイン・クレデンシャル受け取りのため Hilton に移動
		7:20	Hilton 到着 (すでに長蛇の列)
		10:30	本選サインイン・クレデンシャル受け取り終了
		11:30	前日練習のため本選会場に移動 (シャトルバス)
		13:00	本選会場バックヤード見学
		15:00	富澤選手公式練習
		16:00	本選出場者ミーティング (1 時間程度)
		17:30	本選会場発 (本選会場～Hilton は約 30 分)
		19:30	夕食
		22:00	就寝
第 10 日	8月31日 (日)	6:00	起床
		7:30	早坂選手と上田様本選会場の空きコートでの練習のため移動 (シャトルバス)
		8:30	富澤選手と黒岩本選会場移動 (シャトルバス)
		10:00	試合前の公式練習
		11:00	富澤選手本選 1 回戦試合開始
		13:30	本選 1 回戦勝利
		16:30	本選会場発
		19:00	夕食
		22:00	就寝
第 11 日	9月1日 (月)	6:00	起床
		7:30	早坂選手と上田様本選会場の空きコートでの練習のため移動 (シャトルバス)
		8:30	富澤選手と黒岩本選会場移動 (シャトルバス)
		10:00	試合前の公式練習
		12:30	富澤選手本選 2 回戦試合開始
		15:00	本選 2 回戦敗退
		16:30	本選会場発
		19:00	夕食
		22:00	就寝

日時		時刻	プログラム
第 12 日	9月2日 (火)	7:30 9:00 18:00 22:00	朝食 自由行動（アウトレットモールなど） 夕食 就寝
第 13 日	9月3日 (水)	7:30 18:00 22:00 23:00 1:10	朝食、自由行動 夕食 ホテル発 JFK 空港着、出国手続き NY 発（9月4日深夜便）
第 11 日	9月5日 (金)	4:20	羽田空港着、入国手続き 各自、公共交通機関にて帰途

<試合結果>

予選1日目 8月28日（木）

Kurea Hayasaka (JPN) 6 6(2) 8

Raya Kotseva (USA) 1 7 10

Naoto Tomizawa (JPN) 6 6

Damir Zhalgasbay (KAZ) 3 3

予選2日目 8月29日（金）

Naoto Tomizawa (JPN) 7 6

Rethin Pranav Senthil Kumar (IND) 6(5) 4

本選1日目 8月31日（日）

Naoto Tomizawa (JPN) 6(4) 6 6

Keaton Hance (USA) 7 3 2

本選2日目 9月1日（月）

Naoto Tomizawa (JPN) 1 3

Andres Santamar ta Roig (ESP) 6 6

早坂 来麗愛 選手

8月22日(金)

今日は9時30分に仙台を出発してナショナルトレーニングセンターで早稲田実業の選手に2時間半くらい練習して頂いた後、ストレッチなどをして終了しました。久しぶりのハードコートでの練習だったので最初はなかなか合わせることができなく難しかったです。

早稲田実業の選手やコーチ、トレーナーの方のおかげで私のやりたい練習をやらせて頂いたので良い調整をすることができました。ありがとうございます。

明日は9時から練習なので少しずつ調子を上げていけるように頑張りたいです。



8月23日(土)

今日も早稲田実業の選手と2時間から2時間半練習してもらった後ストレッチをして終了しました。ヒッティングしてくださり、ありがとうございました。その後、ナショナルトレーニングセンターで昼食をとり、BNP PARIBAS 様の英会話レッスンを受けました。凄く広い部屋で緊張したけど優しくフレンドリーに接してくださり楽しく英語を学ぶことができました。英語が不安に感じていたので単語を言うだけでも相手にある程度伝わるという事を知れて良かったです。ありがとうございました。

明日は朝から羽田空港に移動して取材を受けた後、ニューヨークに出発します。不安もありますが、精一杯頑張ります。

8月25日(月)

今日はニューヨークに来て初めての練習でした。Jahnie 選手と2時間練習してもらったのですが、普段はなかなか受けることの無いようなスピードやボールの重さを感じるショットが多くて振り遅れ気味になる事が多かったと感じました。構えのスピードを早くしたりなるべく踏み込んで体重を乗せるようにしましたが、なかなか上手くいかず難しかったです。そしてお昼を食べた後はお土産を買いに一人で行って買った事が海外では初めてだったので嬉しかったです。

明日も2時間練習があるので少しずつ調整していけるように頑張ります。



8月26日(火)

今日も Jahn timer 選手と 2 時間練習してもらいました。男子の Jason 選手にもリターン練習をさせてもらいました。馬場コーチにアドバイスを貰ったり、周りの方の協力があつたおかげで素晴らしい環境で練習をすることができ、試合に対して更に気持ちが高まりました。ありがとうございます。

そして、夜は皆さんと楽しく美味しい料理を食べる事ができて嬉しかったです。ありがとうございました。

明日は公式練習があるので緊張しますがいつも通り練習できるように頑張ります。

8月27日(水)

今日はサインインをして会場で公式練習をしました。2 日間練習して貰っていた Jahn timer 選手と今日初めて一緒に練習した Maggie 選手と 3 人で 2 時間練習しました。ニューヨークに来て 2 日間練習した時と同じようにボールは速いし重かったです。ですがだんだん慣れることができ、後半になるにつれ良い状態になっていたと思います。

いつもよりラリーのテンポが速いし少しでも入り方が悪いとやられてしまう中での練習は、大変だったけど日本ではなかなか経験できない貴重な時間だったと思います。

明日からいよいよ US オープンの予選が始まります。緊張はありますが、いつも通り自分らしくプレーして精一杯頑張ります。



8月28日(木)

今日から予選がスタートしました。

相手は13シードのアメリカの選手でした。1セット目、相手のミスが多かったのと自分の調子も良く6-1でセットを取りました。

2セット目に入ると相手のギアが変わりミスの量も1セット目の時とは別人のようになり苦戦し、6-7でセットを落としました。

ファイナルセット、8-10で落とし負けてしまいました。

ですが、4-2の時、5-3の時、5-4の時、

6-5の時、ファイナルセットの8-8、

沢山チャンスはありました。あそこの1点が

取れていたらというのが多すぎて悔やんでも

悔やみきれないです。大事な場面で出る

ダブルフォルト、チャンスボールのミス、そこに自分の弱さがあったと思います。今までできていた事

が急にできなくなり、振れなくなると感じる事があって技術はあってもこのステージで戦う事への準備がきちんとできてなかったと思います。

また来年この舞台で戦う為に、WCを頂けることが当たり前とは思わず全国選抜を勝ち抜いて必ずリベンジします。

そして、サポートしてくださった全ての方々に感謝しています。また、現地で応援くださった皆さんの声がすごく力になりました。期待には応えられず申し訳ない気持ちでいっぱいですが、全力で応援してくださり、一緒に悔しがってくれた事がすごく嬉しかったです。必ず戻ってくるので来年も応援お願いします。

ありがとうございました。



8月29日(金)

今日は富澤くんの応援と本戦に入っていた日本人選手と練習してもらいました。

富澤くんが勝った時、周りの方が喜んでいる姿を見て来年は自分もこういう存在になりたいと思いました。そして、本戦に入っている選手と練習ができ、凄くいい時間になりました。本戦の選手にも自分のテニスは通用する事を改めて知ることができたしこれからは自信を持ってやっていけるように頑張ります。

明日はUSオープンのメイン会場に行きます。何か少しでも自分の経験になるように頑張ります。

8月30日(土)

今日は WOWOW の方に案内してもらいながら普通じゃ見られないような場所に行き、凄い経験をさせてもらいました。今日は練習できなかったけどプロの試合を間近で見たり、松岡修造さんにお会いすることができたりする事ができ、素晴らしい環境に来させてもらった事を改めて感じ、本当に感謝しています。

プロの試合を見ると、やっぱり「自分もここでプレーがしたい」と強く思いました。来年はこの場所でプレーができるように頑張りたいと思います。



8月31日(日)

今日は富澤くんの本戦 1 回戦でした。

1 セット目を 6-7 で落としてもファイナルセットまでいき、勝ったのがメンタルの強さだと感じ、自分も見習いたいと思いました。

そして、他の日本人選手もみんな勝っていて悔しかったです。ですが現実から目を背けず、逆に直接見ることによってより悔しさを感じて来年に活かしたいと思いました。

朝は少し US オープンの会場で初めてヒッティングする事ができました。来年はこの場で試合がしたいです。明日も会場に行って練習、プロの試合が観られるので少しでも身になるように頑張ります。



9月1日(月)

今日は朝、Wilson の上田さんと会長と練習をしてもらった後、少し休んで 14 時から本戦を勝ち進んでいる日本人の選手と練習してもらいました。

その後すぐにアーサーアッシュに行き、大坂なおみ選手対ガウフ選手の試合を見ました。ほとんどの席が埋まっていて 2 人の試合を見るだけの為に多くの方が来ていることに感動しました。

そして、初めて直接、大坂なおみ選手とガウフ選手の試合を見て会場が騒いだり盛り上がりながらも顔には出さず平常心でプレーしていたり、テンポを上げるスピードやタイミングが自分とは全然違い、凄く勉強になりました。

今回の遠征では海外でプレーする事やチームで戦う事

の楽しさや悔しさを知る事ができ精神的にも成長できたと思います。

このような機会を頂けたことに感謝し、高みを目指して精進したいと思います。ありがとうございました。

富澤 直人 選手

8月25日(月)

8時 起床

9時 朝食

10時 ウーバーで練習コートへ移動

11時 練習開始

13時 練習終了

14時 昼食

19時まで 自由時間

19時 夕食



今日はアメリカに来てから、高体連として初めての練習がありました。場所は世界的にも有名なコロンビア大学のテニスコートで、とてもきれいな環境でした。練習相手は、小さい頃にアメリカで一緒に練習していたジェイソン君で、彼は今大学3年生です。さすがにアメリカでずっとやっているだけあって球が速く、最初は押され気味でしたが、だんだん慣れてきていいラリーができました。US Open ジュニアの予選まであと4日なので、とても楽しみです。試合で全力を出せるように、残りの時間も練習と体調管理をしっかりやっていきたいと思います。



8月26日(火)

6:30 起床

7:30 ウーバーで練習コートへ移動

8時 朝食

9時 練習開始

11時 練習終了

13時 昼食

19時まで 自由時間

19時 夕食

今日の練習は、昨年全日本選手権を優勝した逸崎君とジェイソン君と練習をし

ました。明後日から全米オープン予選が始まるので、緊張してしまって、練習中に普段通りのパフォーマンスができないことがありました。特に、自分のできること以上をしようとして焦ったり不安になったりして、集中力が欠ける場面があったなと感じています。これからは、自分の実力を冷静に見極めて、無理せずできることに集中するように心掛けたいと思っています。

8月27日(水)

8時 クリデンシャル獲得

10時 ウーバーで試合会場へ移動

11時 練習開始

12時 練習終了

13時 昼食

14時 練習開始

15時 練習終了

18時 夕食

いよいよ明日から全米オープンの予選が始まります。会場のコートはとて



も速く、調整するのに苦労する部分もありますが、その中で自分なりに準備をしてきました。この大会は自分にとって大きな目標のひとつであり、ここまで練習を積み重ねてきた成果を試す場だと思っています。結果がどうであれ、今できることにしっかり集中して、自分のプレーを出し切れるよう努めたいです。悔いのないよう一戦一戦を大切に臨みたいと思います。



8月29日(金)

6:30 起床

7時 朝食

8時 出発

9時 アップ開始

9:30 アップ終了

10時 試合開始

12時 試合終了

14時 ウィルソンショップ移動

16時 ホテルに戻る

19時 夕食

今日は全米オープン予選決勝でした。結果はインド人の13シードの子に7-6(5) 6-4でした。ファーストは出だしが良くて4-1までいけたんですが、ちょっといけるかもと思ってしまっただけで、結局タイブレークになりましたがなんとか取れました。

セカンドは攻めすぎてミスが増えてしまい、1-4までいかれましたがそこから落ち着いてプレーできて、うまく巻き返して勝つことができました。

自分の夢に見ていた舞台なので本戦も思い切って頑張りたいです。



8月30日(土)

6:30 起床

7:30 出発

9:00 クレデンシャル受け取り

13:00 WOWOWの方々とセンターコート見学

15:00 練習開始

16:00 練習終了

18:00 夕食

今日は予選と本戦の間の空き日でした。本戦の会場は予選とは桁違いに人が多く、とても驚きました。同時に、自分がこのような舞台で試合ができると思うとワクワクしました。また、WOWOWの方々にセンターコートを見学させていただき、テニス界の裏側のようなメディアの現場を

見ることができました。多くの方々が真剣に仕事をされていて、その積み重ねで試合の記事や放送が成り立っているのだと実感しました。明日からいよいよ本戦が始まるので、これまでやってきたことを信じて精一杯頑張りたいと思います。

8月31日(日)

6:30 起床

7:30 朝食

8:00 バスで会場に移動

9:30 アップ開始

10:00 アップ終了

11:00 試合開始

13:00 試合終了

13:30 試合後のクールダウン

16:30 バスでホテルに戻る

18:30 夕食



1R Keaton Hance 6-7(4) 6-3 6-2

序盤からずっとお互い同じレベルの展開でした。お互いにサービスゲームをキープしながら、相手のサーブをブレイクするチャンスを伺うような試合内容でした。

ファーストセットはタイブレークで 4-2 とリードしましたが、少し勝ちを意識してポイントを取られるのが怖くなってしまい、取り切ることができませんでした。

セカンドセットとファイナルセットは自分から積極的にポイントを取りに行くことができ、最後はしっかり勝ち切ることができました。



9月2日(火)

2R Andres Santamarta Roig 1-6 3-6

ファーストセットは、自分のミスが多く、相手のペースで試合が進んでしまいました。

セカンドセットでは気持ちを切り替えて臨みましたが、大事な場面で少し焦ってしまったり、無理をしてミスが出てしまいました。そうした部分の積み重ねが結果につながったと思います。

今大会を通して自分のやってきたことを少し証明できた気がします。

高体連の皆様が選手のことを考え行動してくれたからこのような結果が出せたと思います。本当にありがとうございました。これからも自分が人として、そして、テニスプレイヤー

として成長できるよう頑張ります！



USOPENJr を終えて 早坂来麗愛

まず初めに、US オープンジュニアに参加させて頂きありがとうございました。日本にいただけじゃ感じる事の出来ない貴重な経験を沢山できたのは、全国高体連テニス部の皆様、Wilsonのスタッフの皆様、英会話を教えてくださったBNP PARIBAS 様、現地で応援してくださった方々のおかげです。ありがとうございました。

日本を代表して海外の舞台に立てるということは、自分にとって大きな誇りであり、同時に大きな挑戦でもありました。結果は予選の 1 回戦で敗退してしまい、正直に言うとても悔しい思いが残りました。しかし、その悔しさ以上に得られたものがたくさんありました。

まず、国内とはまったく異なる雰囲気や環境の中で試合をすることができ、世界の舞台のレベルや空気を肌で感じられたことは大きな財産です。自分のテニスがどこまで通用するのか、そして足りないものが何なのかを改めて考えさせられる貴重な経験でした。また、試合に臨むまでの準備の仕方や、海外選手のプレースタイル、フィジカルの強さを間近で見ることができ、自分の課題がより明確になりました。

さらに、多くの方々から応援の声をいただいたことが凄く嬉しかったです。現地まで応援に来てくださった方々、遠くからメッセージを送ってくださった方々、すべてのサポートが大きな力となり、最後まで自分らしいプレーを貫くことができました。結果として勝ち上がることはできませんでしたが、支えてくださる人の存在の大きさを改めて実感しました。そして、今までは海外へ行くことに不安や怖さがあり、なかなか前向きになれませんでした。今回の経験を通して海外に挑戦したいという気持ちが強くなりました。

試合後にはプロの大会も観戦する機会があり、世界トップの選手たちの迫力あるプレーに感動しました。同時に、自分もいつかあの舞台で戦いたいという強い気持ちが芽生えました。この経験を無駄にせず、悔しさを成長の糧にし、日々の練習に取り組んでいきたいです。今回得た学びや刺激を力に変えて、また来年出場して結果を残せるよう努力を続けていきます。



USOPENJr を終えて 富澤直人

全国選抜を優勝し、US OPEN ジュニアに挑戦する機会をいただき、本当にありがとうございました。

今回の経験は自分のテニス人生にとって大きな財産になりました。本戦では 2 回戦で敗退してしまい、結果だけを見ればまだまだ力不足を痛感する部分もありましたが、それ以上に、自分のテニスでも四大大会という特別な舞台でしっかり戦えるという大きな手応えを感じることができました。試合前は「勝つことができるか」と不安が先立つ場面も多かったのですが、実際にコートに立ちプレーを始めてみると、不思議と緊張よりも楽しさの方が強く、試合の中で自分らしいテニスを表現できたと思います。世界の同世代

の選手たちは体格やパワー、戦術の幅などが非常にレベルが高く、課題も多く見つかりましたが、それが逆に大きな刺激となり、これからの練習や試合に取り組むモチベーションにつながっています。また、日本には自分と同世代でも本当に上手な選手がたくさんいます。

今回実際に世界に挑戦してみて、日本の仲間たちにもぜひもっと積極的に海外の大会や四大大会に挑戦してほしいと強く感じました。自分は、今年がジュニアのラストイヤーなのでもうジュニアは出ることができないのですが、また世界の舞台に戻ってこれるよう努力していきたいと思います。改めて、このような挑戦の機会をくださったことに心から感謝しています。



ワクワクドキドキの旅の始まり

8月22日(金)事前合宿初日

南国土佐を後にして、世界のとっぺん目指した長旅の始まりです。まずは NTC (ナショナルトレーニングセンター) での事前合宿初日です。今回の合宿では日本テニス協会の染谷様のご尽力により、21日~22日は日韓中参加チーム、22日~23日はUSOPEN Jr 出場チームがこちらで一泊二日の事前合宿を組むことができました。



屋内ハードコート2面のエアコン完備の快適な環境で日韓中チームは選手8名と監督3名の良い雰囲気ของทีม作りができたようです。USOPEN Jr チームは早稲田実業学校の全面的協力をいただき、山倉選手と中尾選手そして間中コーチによるヒッティングだけでなく小出トレーナーによる体のメンテナンスのご助言もいただき、とても充実して実りの多い初日でした。本当にありがとうございます。明日もよろしくお願いします。

ほいたらね!!



NTC 事前合宿終了 8月23日(土)事前合宿2日目

NTC 事前合宿2日目、アスリートビレッジの宿泊により食事と宿泊の心配も全くなく快適に合宿に集中することができました。競技に集中できる環境の充実には本当に頭が下がる思いでした。今回コーディネートして頂きました日本テニス協会の染谷様には感謝の言葉しかありません。また、2日間ともに練習をしていただきましたチーム早稲田実業学校の皆さん、間中先生、山倉選手、中尾選手、山田選手には我々をチーム早稲田の一員のように接していただき、遠慮せずのびのびと練習に集中することができ充実した二日間にすることができました。感謝の気持ちで一杯です。

午後はBNPパリバ様の英会話レッスン最終日、仕上げの思い切りは「単語で何とかなる」でした。言葉を選ばず乱暴に表現すると、文章を意識せず単語と気持ちで何とかなる

という「暖かいエール」でした。早坂選手も勇気づけられたようで不安な気持ちは掻き消えたようでした。皆さんのお陰で何とかやれそうです、心配するより気合と度胸でぶつかっていきます。皆さんのご支援に「こじゃんと感謝をしつつ」、日本を旅立ちます。

ほいたらね!!

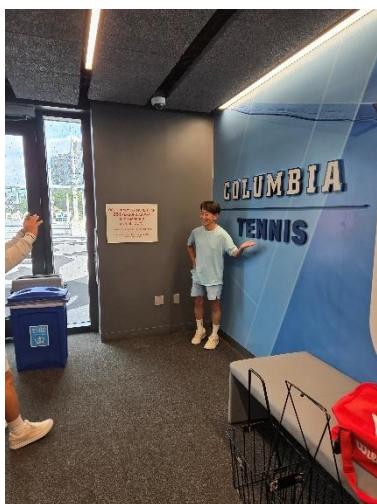
やってきました NY 8 月 24 日 (日)

朝 7 時 30 分にホテルを出て、羽田空港第 3 ターミナルへ。JAL のチェックインカウンターには、日本航空、日本旅行、アメアスポーツジャパン、そして Setinn それぞれの皆様のお見送りを頂き、出発にあたっての意気込みインタビューや記念撮影を撮るにつれて、いよいよ始まる雰囲気の高まりを感じる出発前でした。

13 時間の長旅ののち JFK 空港に到着、今回は以前ほど入国審査に時間もかからず (以前は 1 時間以上の行列でした) 無事に入国できました。そして、そのままメイン会場へ直行しすでに始まっている本選会場を見学しました。幸運にも間近で観戦でき、選手と観客が一体となり試合を盛り上げている雰囲気を体感することができました。やはり四大大会の凄さです。我々の全国選抜も少しでもこの魅力の多さに近づきたいものです。

前乗りの富澤選手とも合流し、いよいよ明日から現地での調整を兼ねた練習が始まります。明後日に始まる予選に向けてできる限りの準備をし、万全の心と身体で大会に臨みたいものです。「こじやんと」頑張り、みんなあが「たまるか」ゆうばあの試合をしてくるさね。

ほいたらね!!



いざ始動 8 月 25 日 (月)

今日からいよいよ NY での練習開始です。この二日間はコロンビア大学のコートをお借りして行えることとなりました。屋内コート 6 面、その屋上にも 6 面のコートがある素晴らしい施設の屋内 2 面をお借りしての 2 時間練習でした。男性は Jason Shuler さん (エール大学 3 年)、女性は Jahn timer Van Zyl さん (USOPEN Jr 予選出場 16 歳) にヒッティングパートナーをお願いして、内容が濃く、充実した時間でした。お二人とも体格もよく体幹もしっかりとしており、更にフットワークも軽やかで、練習相手には十分過ぎる選手でした。明日も引き続き練習にお付き合いいただけますので、大会に向けて一段とギアを挙げて臨むことができると心強い思いです。

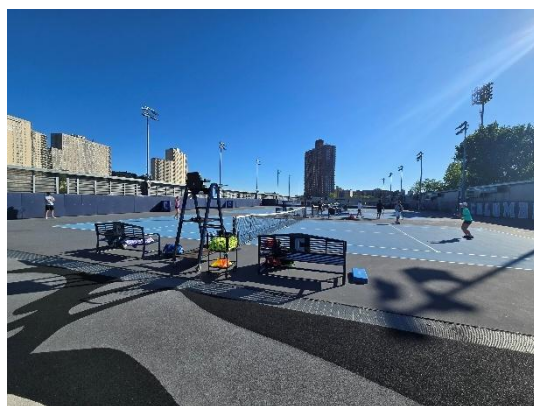
練習後はホテルに戻り休養を取りました。昨夜はまだ時差の関係で夜中に目が覚めるなど身体の調整が必要です。多少眠気はありますが、少し無理をしてでも日中は起きてこちらの時間に体を馴染ませるよう努めました。

あと二日、決戦は金曜日ではなく木曜日から始まります。万全の態勢を整えて、大会に臨みます。

ほいたらね!!

Thanks Columbia University 8月26日(火)

今日はNYでの事前練習2日目、朝9時からの練習開始に合わせて7時30分にホテルを出発、朝食を購入しテニスコートのあるレストハウスにて頂きました。本日の練習コートは屋上、それも風除けの設備も整った施設のため、風をプレーの邪魔に感じることなく快適な環境で練習に専念できました。本当に素晴らしい施設です。後で伺ったこと



には、この施設は個人の寄付(箱モノは1個人の50億円の寄付)を集めて作られており、日本との文化の違いを痛感させられました。日本でこのような寄付はあまり目にしない事ですが、それが普通にあるアメリカの良さですね。

さて、本日の練習も昨日と同じく Jason Shuler さんと Jahn timer Van Zyl さんに加え、逸崎さん(相生学院卒)をヒッティングパートナーを迎え、サービス、リターン、ストローク、ボレーなどの最終チェックおよび気になるポイントを集中的に調整することができました。皆さんの献身的な協力のおかげでコンディションを十分整えることができ、大会に臨むことができます、本当にありがとうございました。さあ、明日は予選の Sign-in です、いよいよです。

ほいたらね!!



始まります 8月27日(水)

今日は朝からヒルトンホテルに向かい、8時からの予選の Sign-in をしてきました。毎回のことながら、日本での申し込みなど WC の手続きがすべてネットでのやり取りのため完了の確信が持てず、現地での Sign-in が出来て初めてほっとした気持ちになります。

その後は予選会場での公式練習に向かい、午前と午後しっかりと調整ができました。10時からの開放コート練習では、各自が自分でヒッティングパートナーを確保し、相手と練習をするのが一般的なシステムです。今年は昨日までの練習相手が予選に出場のため練習の約束も取りやすく、また、会場で初めての選手にも申し込むことができて大きな苦労はなく練習に臨めました。やはり前日練習

ということもあり、各自の意識の高まりがプレーにも反映されて、本番に向けて一段と細やかな確認と挑戦ができました。いよいよ明日から本番が始まります、待っちゃよ USOPEN Jr、こじゃんとギアを入れててっぺんを目指すね。

ほいたらね!!

人生山あり谷あり 8月28日(木)
いよいよ来ました予選の初日、今までの思いをぶつける一歩目です。まずは早坂選手、順調な滑り出し、第1setは何もなくあっさりと6-1、しかしそんなに甘くはいきません第2setはカギとなるポイントがたくさんありましたが、結局6-7で落としてしまいました。第3setも8-8までいきましたが結果としては8-10で終了となりました。もちろん相手も勝負にきています、実力の差がない



い中での勝利することへの課題はたくさん見つかったのが早坂選手の大きな財産と思います。これから益々の飛躍を確信します。早坂選手の終盤に富澤選手の試合が始まりました。最初はリードを許しはしましたが、よく走り、よく攻めました、結果としては6-3、6-3の圧勝でした。この勢いを明日へと繋げて欲しいものです。

ほいたらね!!



決戦は金曜日 8月29日(金)

まずは First Stage この突破のために各自が頑張って今日を迎えました。早坂選手は初戦で敗退しました。富澤選手は初戦突破本日にその思いをぶつけます。始まりは簡単なものではありませんでした。第1set タイブレークまでもつれこみ、そのうえで何とかもぎ取りました。第2set はやはり相手の攻撃が勝り 1-4 までリードされましたが、相手選手は足への不安が増大し、3-4 での MTO に入り、そのまま 6-4 で勝利を手繰り寄せました。何ともハラハラする試合で、それでも勝ち切った富澤選手の精神力には頭が下がります。そして、おめでとうございます、念願の本選出場が叶った瞬間でした。富澤選手は勝利の涙に溢れ、応援の一同も歓喜にわきました。今日ばかりは勝利の余韻に浸り、そし

て明後日からの本選に気持ちを切り替えます。

ほいたらね!!

ひと時の休息 8月30日(土)

本日は予選と本選の間の休息日、しかし本選の再登録のため朝の7時30分からヒルトンホテルの受付に並びました。予選の Sign-in の時と同じ感覚で向かいましたが、既に沢山の人が並び、結局再登録を済ませたのは10時30分を回っていました、疲れしました。

午後の15時から本選会場で練習を予定しているため、シャトルバスにて会場に移動しました。さすがの土曜日会場は多くの人でごった返していました。練習前に WOWOW の方のエスコートにより会場の裏側やインタビュールームなどを見学させていただきました。試合に向かう選手も通る区域ですから、当たり前ながらセキュリティの厳しさにプロの試合を運営するスタッフ側の真剣さに触れた瞬間でした。

本選出場選手およびコーチには専用の VIP ルームが用意され、会場内でも試合前のコンディションを整えるには最高の環境を提供してくれています。コートでの練習もいつもとは少し違う緊張感を感じながらもリラックスした雰囲気の中で臨むことができました。16 時からは選手向けにミーティングがあり健康管理などのレクチャーを受け、これから次世代を担うジュニア育成を念頭に置いた内容に継続した選手育成の姿勢を感じました。

さあ、明日から本選開始、「たっすいはいかん」の精神で、持てる力と経験と勇気をもって初戦に臨みます、乞うご期待。

ほいたらね!!

始まり始まり 8月31日(日)

さあ、本選の始まりです。対戦相手の選手は実力的にも富澤選手より上位に位置してはいるが、もともとチャレンジャーとしてこの大会に臨んだ身としては問題ありません。普段着のスタイルで全力を尽くすのみです。

1set、予想通りに相手のパワーとテクニックは素晴らしく、しかしながら富澤選手もそれに互角に対応しシーソーゲームを繰り返しタイブレークに持ち込みました。残念ながら接戦の末 4-7 で落としてしまいました。2set、相手選手への対応に徐々に慣れて



きたこともあり勝負所を確実に掴み続けた結果 6-3 で取り返し、ファイナルセットへと進めました。2set の勢いが続くと共に相手選手のミスも加わり、接戦ながらも着実にゲームを支配し結果としては 6-2 のスコアで勝利を手に入れました。予選決勝の時とは違い、歓喜に沸く様子ではなく、じわりじわりと湧いてくる勝利の実感に浸る感じで全員が喜びを共有しました。

まだまだ明日も試合が続きます。対戦相手は第2シード選手、臨むところです、勢いだけではなく、着実にそしてメキメキと向上している実力で撃破していきます、明日が楽しみです。

ほいたらね!!

たっすいはいかん、こじゃんと頑張ったさね 9月1日(月)

男子本選2回戦、まっことたまるかゆうばあ強い相手やったがよ。パワーとコントロールそしてコートカバー域の広さ、テクニックに長けた素晴らしい対戦相手でした。やはり世界は広く、まだまだ未知の世界は大きく深い懷で我々を迎え構えてくれました。「君たちまだまだだね」、なんて言われているかのような異次元の選手でした。しかしながら、その選手相手に富澤選手は持てる力と知恵を振り絞り、今できる全力で相手と戦いました。結果及ばぬこととはなりましたが、挑戦者だからこそわかることが沢山見えてきました。富澤選手はもちろんのこと、我々サポートスタッフも十分に良い経験を頂きました、ありがとうございます。この経験を次回のみならず、これからの選手育成と各大会運営にも生かしていきたいと考えます。本当にありがとうございました。

次の機会に向かって「ほいたらね!!」



宴の終わり 9月3日(水)深夜便にて

始まりがあれば終わりがあるのも世の常、今回15日間の長旅もそろそろ終わりに近づいております。

8月22日午後からのNTCでの事前合宿、早稲田実業学校の皆さんと日本テニス協会の染谷様には大変お世話になりました。最後には同じ練習コートにて小田凱人さんから暖かいエールも頂きました。24日には13時間かけてNY入り、本選会場



に向かいとてつもなく大きく賑やかで、世界の名だたる選手が一堂に会する大会の凄さを3年ぶり



に実感しました。次の日からは2日間現地にて事前練習を行い、27日にヒルトンホテルにて第1関門の予選のSign-in、移動の後に予選会場に最後の練習を行い、いよいよ予選に臨みました。

8月29日まずは早坂選手、1setを簡単に取った後、2set以降に反撃を受け残念な結果となりました。途中並行して富澤選手、こちらは一方的に試合を支配し初戦突破しました。予

選 2 日目も緊張感の中試合を終始優勢に進め見事に予選突破を成し遂げました。1 日の休養日を挟みついに本選です。

8 月 31 日初戦は難敵の情報、富澤選手も緊張感を持ちつつ試合に臨みました。始まってみると事前予想以上に互角の戦い、接戦を制したのは富澤選手でした。2 回戦の相手は初戦とは比べ物にならない程のパワーと精度そしてフットワークの軽快さと全てにわたり格上で圧倒され、善戦しましたが敗戦となりました。それにしても、2 人の選手共によくやりました。

最後に今回の 15 日間の長旅を昼夜問うことなく全面的にバックアップして頂きました、久保田様、細川様、河村様始め日本旅行の皆様には本当に感謝いたします。お陰様で無事に全日程を終えることができました。そして、当プログラムにご支援くださったすべての方々にこの場をお借りして御礼申し上げます。次年度以降も当プログラムの益々の発展を願います、ありがとうございました。
ほいたらね!!

